令和７年度　王司山田園事業報告

１．はじめに

令和７年度は、NTT フレッツ ADSL 回線のサービスが令和８年１月で終了することになり、他に代替回線がないため、フレッツ光回線を新たに整備することとなった。関係機関と協議を重ね、令和８年１月に整備を終了した。

職員配置は、引き続き１.７：１での支援を継続し、平均利用者数は、生活介護３０.９名、施設入所支援３０.６名、平均障害支援区分５.９となっている。欠員は女性２名・男性２名（待機登録者：男性１９名・女性２名、緊急登録者:男性０名・女性０名令和８年３月３１日現在）である。

２．施設運営

（１）利用者支援

令和７年度も支援員配置は夜勤者２名、宿直者１名を基本とし、早出・遅出男女各１名及び日勤者数名で支援した。リハビリを継続し、意志決定支援に配慮した視覚的支援にも注力した。コロナに引続きインフルエンザの流行があったため、感染対策に配慮しながら交流会や外出等を行い、利用者の生活にメリハリを持たせた。

（２）施設及び設備整備について

開園後２４年経過し備品や設備の老朽化が目立つようになってきている。令和７年度は以下の修理・取り替えなどを行った。

・発電機修理
・壁補修工事
・園内全体除草（斜面含む）
・自動ドアセンサー取替工事
・厨房休憩室天井漏水修理

（３）職員について

１０月に男性支援員１名を採用し、また、９月に女性支援員を１名採用したが１１月に退職した。また、１月に女性支援員を１名採用した。

３．状況報告

（１）利用者・職員状況

①利用状況

施設入所支援・生活介護事業は、利用者定数３５名に対し、男性１名が令和７年６月に退所し、男性１９名・女性１２名の計３１名となっている。

短期入所事業については、５名で２８日の利用があった。

②職員研修

職員の資質向上を図るための各種研修会に参加している。

[職員研修実績表]

月日	研　修　名	主　催	場　所	人数
4/25	山口県福祉協会施設長会	県福祉協会	山口市	1
6/25	福祉施設給食担当職員研修	県研修所	〃	1
6/25	医療保健部会	県福祉協会	〃	1
7/15・16	キャリアパス中堅職員コース	県社協	〃	1
7/15・16・17	中四国地区職員研究協議会	日本福祉協会	松山市	1
9/2	スピーチロック防止研修	県研修所	山口市	1
10/7	特定給食施設等研修	〃	〃	1
10/16	サービス管理責任者基礎研修	YIC スタジオ	〃	2
10/21・22	サービス管理責任者実践研修	〃	〃	1
11/6・7	中堅職員研修	県福祉協会	〃	1
11/20	知的障害施設福祉振興大会	〃	美祢市	1
11/27	第２回医療保健部会	〃	〃	1
12/2・3	サービス管理責任者実践研修	YIC スタジオ	防府市	1
1/29・30	中国地区障害支援施設部会研修会	県福祉協会	山口市	1
2/12	県親善球技大会実行委員会	〃	〃	1
2/13	支援スタッフ部会	県社協	〃	1

※その他、オンデマンドで全国知的障害関係施設長会議（日本知的障害者福祉協会主催）、相談支援従事者研修（YIC）虐待防止・権利擁護研修（県障害者支援課）、特定給食施設研修（県健康づくりセンター）。

下関市自立支援協議会「くらしの部会」へ月２回程度参加・研修。

園内研修（職員自主研修）として、ダウン症の特徴と支援時の合理的配慮、福祉施設における ICT・DX・AI の活用について、給食施設における衛生管理の基本、集団意思決定の種類、精神疾患の理解と支援について、障害者虐待防止、権利擁護研修報告を行った。

資格については、令和７年度には１名が社会福祉士に合格した。また、新規採用職員が１名介護福祉士の資格を取得済みであり、現在の資格保有者数は、社会福祉士６名、精神保健福祉士３名、介護福祉士１０名となっている。

③支援活動

（イ）健康管理

感染症予防の為、１日３回の手洗い・うがい・消毒の徹底や外出時のマスクの着用を行った。令和７年度はコロナウイルスが５類となったもののインフルエンザの流行もあり、引き続き感染対策を継続した。帰省・買い物・外出等も含め外部との交流を検討し、職員も勤務中や外出時のマスクの着用や抗原検査キットの活用を行い、健康管理に努めた。

・令和７年度健康診断の実施状況

嘱託医浜田医師による年２回の健康診断（９月・３月）、２月に福田歯科医による歯科検診を実施した。新型コロナウイルスワクチン接種は、希望者のみＲ８年１月に、インフルエンザワクチン接種を令和７年１１月、１２月にそれぞれ実施した。

・令和７年度　入院状況

下関病院：重度知的障害・行動機能障害　１７９日

長府未来クリニック：逆流動性食道炎・十二指腸炎　１９日

関門医療センター：腸閉塞疑　１８日

令和７年度　通院状況

医療機関名	診療科目	延人員	備考
下関病院	精神科	８８	てんかん・精神遅滞・適応障害
浜田内科	内科	８０	肝機能障害・糖尿病・高血圧等
河崎皮膚科	皮膚科	２７	褥瘡・アトピー性皮膚炎等
ありた眼科	眼科	１８	白内障等
岡病院	内科・外科	3	打撲等
かげやま耳鼻科	耳鼻科	１５	耳漏等
福田歯科	歯科	６０	齲歯・歯周病・義歯調整
おづきクリニック	整形外科	１１	関節痛・骨粗鬆症等
長府泌尿器科	泌尿器科	6	尿細菌検査・前立腺肥大等
関門医療センター	総合病院	7	婦人科・発熱等
下関市民病院	総合病院	1	耳下腺（腫瘍）
柏村医院	内科・神経内科	6	不随意運動など
さくら歯科	歯科	１０	抜歯、義歯作成
ひろしげ眼科	眼科	1	眼周囲の痣
菜のはな耳鼻咽喉科	耳鼻科	1	嚥下内視鏡検査
長府みらいクリニック	外科・内科	１０	痔、胃カメラ検査等

（ロ）活動状況

令和７年度は職員数の関係上、グループに分かれての日中活動は行わず、全体での活動を行った。その中でも利用者個人に合わせた個別プログラムの提供も行い、重度の利用者も参加できるよう工夫をした。

活動内容において、朝ワーク、カレンダー作りなどの個別担当支援、リハビリ・リラクゼーションなどの健康維持、壁面制作・書道・陶芸等創作活動、理美容・レクリエーションを含む生活支援、館内外清掃や草取りなどの環境整備の５つのカテゴリーに分類してバランス良く各班の特性に合わせて配置し行った。

外出行事として日帰り旅行を実施した。他の利用客の状況により、現地で少し休憩や散策を行い気分転換を図った。

入浴は、ゆっくり・少人数で入浴することで、利用者の皆さんはリフレッシュできたようである。洗体も不完全ではあるが自分で洗える利用者が多くなり、意欲もわいてきている。

（ハ）生活支援状況

・理美容

園内にて業者による理美容は、感染予防に努めながら毎月実施した。

（ニ）地域交流・地域貢献

地区文化祭は王司地区・清末地区文化祭双方に利用者の皆さんを分けて参加した。また、７年度は王司山田園ふれあい祭りを地域住民、地区幼稚園児を招き盛大に開催した。そのほか、高齢者買い物支援として、地域で移動に困っている高齢者の買い物支援を行っている。

（ホ）広報

王司山田園の広報誌「かざぐるま」第４１号を３月に発行し、王司・清末地区近隣１１自治会に回覧をお願いするとともに、関係機関及び地域役員、保護者に３５０部配布し、王司山田園を育む会へ約２００部提供した。

家族会は４月、８月、１２月に開催し、いずれも帰省日とした。また園祭り終了後も帰省日とし、園としての帰省日は年４回とした。

（へ）社会支援及び諸行事

令和７年度　行事実施状況

実施月日		行　事　名	実　施　内　容	場　所
４月	１日	開園記念日	花見弁当	王司山田園
５月	３１日	ふれあい祭り		〃
６月	３０日	レクの日	すごろく大会	〃
７月	18・25 日	社会実践	ゆめシティ	同左
８月	１３日	帰省	利用者帰省	王子山田園
９月	２６日	日帰り旅行	花津浦・海鮮村 北長門	同左
１０月	15・17 日	社会実践	ゆめシティ	〃
１１月	３日	王司・清末地区文化祭	王司・清末公民館	〃
１２月	１９日	忘年会・クリスマス会	宴会・プレゼント	王司山田園
１月	１６日	新年会	宴会・ティタイム	〃
２月	１３日	映画・バイキング	映画鑑賞・バイキング	〃
３月	17・19 日	自治会レク	外食・デザート	ドットビー アンシャーリー

・月１～２回の割合で利用者の皆さんの嗜好品（おやつ等）・日用品等を購入する為、ゆめタウン・コスモスに買い物に行っている。
・王司山田園ふれあいまつりでは、地域住民や地域幼稚園児を招き、前年度同様の規模で開催し、模擬店バザー・喫茶コーナー・催し物等あり利用者の皆さんは満足されていた。
・日帰り旅行は花津浦にて昼食を摂り、海鮮村　北長門を散策した。食事は普段あまり食べる機会のない海鮮料理を楽しまれていた。また、北長門では、各自お土産の購入やデザートを食べる方もおり、各々ゆったりとした時間を過ごされていた。
・クリスマス会・忘年会は、職員有志の出し物やサンタさんからのクリスマスプレゼントを受け取り、食事は豪華弁当を提供した。ティタイムはクリスマスケーキを食べ皆さんはとても満足されていた。
・新年会はお正月に因んだゲーム（福笑い、かるた）を楽しみ、食事は豪華弁当を提供した。

（ト）防火・防災対策

年４回６月９月１２月３月に総合訓練（避難・通報・消火訓練等）を東消防署に届け出て実施している。その際、消防署員より利用者の皆さんへ災害・火災に関する講義を行っている。３か月に１回の割合で避難訓練も実施し、その中には夜間想定訓練や風水害に対する避難訓練も取り入れて

いる。年２回消防設備の点検を行い、点検結果を東消防署に提出し、指摘事項については適宜改善を行った。

（チ）給食

昨年度に引き続き、利用者の皆さん全員を対象として栄養ケアマネジメントを実施した。日本人の食事摂取基準２０２５年版に基づいて、質・量ともに個人にあったものを提供する事により嗜好も把握している。家庭的な雰囲気を出すために利用者の皆さんの誕生日ごとに希望を受け、一人一人の誕生日メニューを提供した。社会実践の実施により利用者の皆さんが外食する機会もあるが、施設内でもバイキングの実施、ファストフードの購入、豪華な弁当の提供等で、皆さんの満足感を高めるよう努めた。食事場所は男性利用者が食堂、女性利用者が居室で食事を摂るようにしているため、感染症発生時も感染拡大する事はなかった。

（リ）短期入所利用状況

大藤園利用者を中心に利用された。利用件数に関しても少しずつであるが増加している。

（ヌ）権利擁護・虐待防止

虐待防止委員会を定期的に開催し、虐待防止に努めた。支援員には虐待防止研修を受講させ、職員会議においても日々変化する内容の周知を行った。あわせて職員セルフチェックや労働安全衛生法に定められているストレスチェックを年１回実施し、結果を集計して提示している。

令和７年度　ヒヤリハットシート提出件数　１８件

事故報告書　２件

※医療機関に入院した場合、救急車を要請しての入院は事故報告書から入院報告書に様式を変更している。

４．その他

下関長府ライオンズクラブより６月と１２月に花苗を寄贈して頂き、利用者の皆さんと職員で花壇とプランターに植え替え園内の環境美化に努めた。

６月と９月に清末小学校の生徒が来園し、利用者の皆さんとゲームを行うなど交流を行った。